

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市左近山地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

担当地区である左近山地区、市沢地区は、高齢・障がい・子どもについて様々な課題を抱えている地域です。

高齢の分野では、左近山地区は高齢化が顕著で、独居世帯、老々介護世帯が多いこともあり、見守り体制の構築が急務であります。また団地では階段昇降に困難な住民が今後も増加傾向にあります。

障がいの分野では、精神障がいのある方や知的障がいのある子と年老いた親子世帯等、どこのサービスにもつながっていないケースが潜在しています。

子育ての分野では、虐待や貧困、養育困難といった支援が必要な家庭もあります。両地区とも、担い手不足の解消と不足している支援の仕組みの検討を進めています。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

ケアプラザは公共の施設である為、施設全体を専門性の高い業者に年の計画を提出させ管理しています。特に利用者がよく利用する自動ドアやエレベーターの安全管理、空調設備、消防設備も同様に安全管理を行いました。

施設内では、館内はいつも不特定多数の地域の方が利用します。その為、使用の仕方によって不具合が生じてしまうことがあります。不具合の箇所を職員やご利用者が発見した時は速やかに修繕することを周知徹底しました。

イ 効率的な運営への取組について

消耗品等については無駄が生じないように日々徹底し、取り扱いに注意を払うよう指導を行い、職員への意識付けを行いました。

また、資源に関しての節約の意識を持つよう、職員に対し朝・夕のミーティングにて啓発を行いました。来館者へも掲示や口頭、貸館利用説明会などで、節電・節水の呼びかけを行いました。

ウ 苦情受付体制について

サービスに対しての苦情は、適切に対応し円滑・円満に解決する為に、相談員の心構え及び留意事項を苦情処理マニュアルに定めています。

苦情受付担当者を明確にする為に、利用者からの苦情受付処理・苦情受付者・苦情解決体制図を張り出し、利用者にとって解りやすい環境を整えました。

また、第三者委員を設置し、早期の不満解消・苦情解決に助言をいただける様、受けた苦情の報告を行い、迅速に解決に向けて行動できる体制をつくりました。

また、日頃より利用者から苦情を頂かない対応を心掛け、利用者との良好な関係性、信頼性をつくるコミュニケーションや対応に努めました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

日常的な防犯については、不特定多数の出入りするケアプラザにおいて、全ての人に挨拶を心掛け、不審者が入りづらい環境を作っています。また貴重品や個人情報ファイルは、利用者の目に触れないよう保管庫に収納し、扉には鍵を施しています。

防災については、ケアプラザ内で防災委員会を立ち上げ、訓練の内容を検討し実施しています。備蓄についてもチェックを行い、必要と感じる備品については検討購入しました。

ケアプラザは要援護者の特別避難場所となっているので、その役割を職員一人一人が理解すると共に、災害が発生した時は行政からの要請で要援護者を受け入れる他、直接ケアプラザに避難する人の対応等も検討しています。

防災訓練は、年に3回法人全体で無線を駆使し、訓練を行いました。無線を利用する事で、各施設の状況把握ができ、各施設同士が助け合う環境となっています。訓練はケアプラザ利用者も含め、全員参加が基本となって行いました。

オ 事故防止への取組について

事故防止については、職員一人一人が事故防止マニュアルを熟知し、事故を起こさない対応、事故を未然に防ぐ事が出来ました。

法人内、他施設で事故が起こった場合、事故防止委員会主催による研修を、職員全員を対象として開催し、情報の共有、再発防止に努めています。万が一事故が発生した場合は、災害発生レベルと同等の扱いとし、事故対応マニュアルに沿って迅速な対応を心掛けています。

又、事故報告についても迅速に関係機関へ報告が出来ました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

職員は、日々業務の中で多くの個人情報を取り扱っています。職員の感覚が麻痺し、個人情報の取り扱いをおろそかにすることなく、横浜市個人情報の保護に関する条例の重要性を理解した上で職員は、行政への個人情報保護の誓約書も提出しています。その他法人の取扱い要綱を遵守し、適正な取り扱いに努めています。

ケアプラザ内では適正な管理を行うよう個人情報保護マニュアルを整備し、職員への周知徹底を行いました。

また、ケアプラザ所長会で個人情報流出による記者発表の報告がなされると、ケアプラザの朝礼で報告し、同じことを起こさないよう繰り返し周知しています。更に、法人内研修において、実際に起こった事例を通じて研修を行いました。

研修会を通じて、個人情報保護やプライバシー保護についての共通認識を高めています。

キ 情報公開への取組について

法人全事業所の事業計画・事業報告をケアプラザ情報コーナーに配置し、ホームページからも確認することが出来、常に更新しています。

また、毎月発行する広報紙にて各種イベントや活動案内等を掲載して、関係機関、自治会・町内会掲示板、回覧板を通じ情報の公開を行いました。

老人会や高齢者食事会等、地域住民が集まる場所に積極的に出向くことにより、消費者被害防止等の地域住民に有益な情報を定期的に情報発信しました。

ク 人権啓発への取組について

『人は生まれながらにして平等の人権を有し、互いに人権を尊重する』事をモットーとして、全職員対象とした『サービスマナー』の研修において、人権啓発を内容に取り入れ、考えるきっかけ・行動するきっかけにしています。

特に、地域で活動する地域活動交流事業や地域包括支援センター運営事業・生活支援体制整備事業の職員では、言葉や態度・対応に差別的な事がないかを管理者が定期的にチェックしました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢（スリム）プランについて、職員は分別表に従い厳格に分けてゴミ類を処分しています。

特にプラスチック容器は、汚れたまま燃えるごみに捨てるのではなく、洗ってプラスチック容器として出す様心掛け、ゴミを燃やして発生する温室効果ガスを増やさないよう努めました。

また、出来るだけ使い捨ての物を使わない様、職員一人一人が日常的に心掛けています。

市内中小企業優先発注については、出来る限り地元の企業を優先的に声かけするよう心掛けています。

障害者就労施設からは、出来る限りケアプラザの自主事業で使用する必要物品等を購入するようにしました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師 1名、社会福祉士 2名、主任ケアマネジャー 1名（以上、地域包括支援センターとの兼務）

介護予防支援専門員 1名

j

《目標》

それぞれの専門性を活かしながら、地域包括支援センター3職種と介護予防支援専門員が連携して介護予防支援業務に取り組んだ。また、要支援者のみならず、要支援・要介護の非該当者までの連続的で一貫したケアマネジメントを実施した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	184	180	182	183	185
10月	11月	12月	1月	2月	3月
182	199	203	176	191	192

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 3名（常勤専従 2名、常勤兼務 1名）

《目標》

- ・ 運営基準に従い各関係機関と連携を取り、住み慣れた地域で、ご本人様、ご家族様が安心して生活が出来るよう支援が出来た。
- ・ 利用者の選択、自立支援、在宅生活の継続を目指し、心身の状況に応じ公正中立な立場で支援できた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担徴収なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターが併設されている為、地域に根ざした居宅介護支援を継続的に行い、区役所との連携も密に図れた。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	109	109	107	110	113
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	104	107	108	104	101

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		2割負担分	
（要介護1）	674円		1,348円
（要介護2）	796円		1,592円
（要介護3）	921円		1,842円
（要介護4）	1,048円		2,096円
（要介護5）	1,174円		2,348円
● 食費負担	900円		
● 入浴	54円（1割負担分）	108円	（2割負担分）
● 個別機能訓練Ⅱ	60円（1割負担分）	120円	（2割負担分）
● サービス提供体制加算	7円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：30～16：35

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 相談員 2名（専従1名、兼務1名）
- ・ 介護員 16名
- ・ 看護師 4名
- ・ 運転手 4名
- ・ 機能訓練指導員 4名（専従1名、兼務3名）

《目標》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事ができるように通所介護サービスを提供する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

個別機能訓練の他に、在宅生活を継続していただくために生活支援プログラム実施

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
954	977	941	964	962	955
10月	11月	12月	1月	2月	3月
969	979	962	863	833	913

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 運動器機能向上訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|-----------|------------------------------|-------------|
| ● 1割負担分 | | 2割負担分 |
| （要支援1） | 1,766円 | 3,532円 |
| （要支援2） | 3,621円 | 7,242円 |
| ●食費負担 | 900円 | |
| ●運動器機能向上 | 242円(1割負担分) | 484円(2割負担分) |
| ●サービス提供体制 | (要支援1)26円、(要支援2)52円 (1割負担分) | |
| | (要支援1)52円、(要支援2)104円 (2割負担分) | |

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・相談員 3名（専従1名、兼務2名）
- ・介護員 14名
- ・看護師 4名
- ・運転手 4名
- ・機能訓練指導員 4名（専従1名、兼務3名）

《目標》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事ができるように予防通所介護サービスを提供する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要介護認定とならずに現在の生活を継続できるよう、機能訓練の他に、生活支援プログラムを実施

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	110	118	114	110	111
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	84	95	85	97	101

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

○高齢者、障がい、子ども等の相談についてはワンストップで相談できる体制づくりのために相談マニュアルの整備と職員シフトを調整することで相談を常時受けられるような体制がとれた。

○ケアプラザの自主事業等や地域事業等においても個別に相談ができるように配慮をして、プログラム後に来所・自宅訪問をすることで次の支援につなげる事が出来た。必要に応じて関係機関にも迅速につなげた。

○高齢者食事会、老人会、親子サロンに定期的に参加して、そこで情報提供を行った。ケアプラザが相談できる機関ということの認知度も高まり、その場で相談を受けることもしばしばあった。介護予防に関する健康教室の紹介も行っており、健康意識を高めていただけるように働きかけてきた。また、民生委員との情報交換も行い、早期支援につなげる事が出来た。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

○地域包括支援センター3職種と地域活動交流コーディネーターの各特性を生かした連携に加え、生活支援コーディネーターが地域を把握できるように5職種が協働したことで、生活支援体制整備事業の存在を地域住民に知っていただくことができた。

○自主事業については、各職種が把握している地域ニーズや個別の課題が反映できるよう企画した。介護保険サービス以外で利用できるインフォーマルサービスを紹介し積極的につなげる事が出来た。

○お互いの事業の計画書と報告書を回覧することで、お互いの事業への理解が深まり、広報や受付業務にも効果があった。また、地域のニーズの収集や参加者からの近所の方の情報を頂くことが少なくなく早期の相談に繋がった。

○自主事業やボランティア育成においては、それぞれが協働し、把握している情報を5職種で共有できる体制をつくってきた。

○対象者が幅広い年齢層になる事業は共催で行い、利用者の情報を共有して支援している。

○所長と5職種で会議を継続的に開催し、連携を図った。

3 職員体制・育成

○職員の増員がスムーズに行え、目標通りの職員配置ができている事でご不便の無い対応が出来た。

○正面玄関に各担当職員の写真、職種、氏名を掲示し継続したことで、ケアプラザ利用者が分かりやすく、安心して利用していただけるようにした。その為名前を良く覚えて頂き顔が分かる関係が出来てきている。

○職員育成として、法人主催の職場研修を年間計画表に基づいて参加している。特にサービスマナーや救命講習は年2回実施する事で質の高いサービスの提供と言う目標に前進する事が出来た。

○専門家としての自覚を高める為に、外部団体の主催する研修にも参加し専門的知識の習得が出来た。

4 地域福祉のネットワーク構築

○支えあいネットワーク等を通じ、関係機関や地域の方と定期的に話し合いの場を設け、地域の状況や課題についての情報交換を行っている。市沢地区においては、各分科会に参加し情報提供や進捗状況の確認、専門分野での協力を行った。また、市沢ふれあいホールに出向き子育て支援に関わる情報交換が出来た。左近山地区においては、ほっとさこんやまで行われている日曜ほっとに出向き、子育て支援に関わる情報交換や交流ができた。

○ケアプラザ登録団体やボランティア活動を行っている個人、団体の情報交換や意見交換の場、活動の理解を深める場として登録団体説明会、ボランティア交流会を開催している。

○左近山保育園主催の事業に協力し開催することで、情報交換の場を設けている。

5 区行政との協働

○地域福祉保健計画では、各リーダーを中心とした支援チームで区、区社協と地域の状況や情報の共有を図り、各地域が計画の推進に取り組むことができるよう、地域の望む支援ができるよう努めている。

○子育て支援事業として、区子ども家庭支援課、子育て支援拠点の支援会場提供や左近山保育園との共催で子育てに関する事業を開催し、地域の子育て情報の収集や提供を行えた。

○市沢地区では、区・区社協と協力して、各分科会の会合への参加や各リーダーとの対話などから情報を収集し、共有することで、計画の推進に繋げることが出来た。

○左近山地区では、区・区社協と計画の推進方法の検討を重ね、地区へ発信することができている。年間計画の事業として実施している団地祭（荒天で中止）・ウォーキング・スタンプラリーの実行委員の事務局として、事業の推進や各委員・区・区社協との調整役を果たす事が出来た。

○区社協や地区社協、他団体と共に、左近山小学校の福祉講座へ参加し、地域の子どもの福祉についての理解を深める事が出来た。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

○広報誌に自主事業の紹介、活動団体やボランティア活動の紹介や募集、地域の事業や情報を掲載し多種多様なニーズに対しての情報が発信出来た。

○施設内掲示、屋外掲示にて自主事業の紹介や登録団体の活動紹介を行えた。

○活動団体や地域内で活動している団体の活動状況などを聴取し、把握が出来た。

○相談者のニーズにあった自主事業や活動団体の紹介を行い、各種の情報提供や仲介を行えた。

○地域の高齢者昼食会や子育てサロン・小学生余暇支援事業などに参加し、主催者や参加者など各方面からの情報収集や発信・提供も行えた。

○地域の状況を把握し情報を収集するため、地域の事業や行事、会合の場に参加し情報の収集・発信に努める事が出来た。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

○地域の方や相談者に貸館利用や方法の紹介を行い、活動の場を紹介出来た。

○活動しやすい状況を作れるよう、部屋の空きやキャンセルの情報を1階受付脇に掲示し、情報提供が出来た。

○活動団体が希望する活動内容に沿えるよう状況把握に努め、また相談を受け対応を考えるなど、身体の状態や施設の設備などで活動が制限される事が無い様にする事が出来た。

3 自主企画事業

- 地域で収集した情報や施設利用者からの情報をもとに、地域ニーズに沿った事業を企画し開催する事が出来た。
- 各世代や様々な対象者に合わせた事業を行い、継続してケアプラザの利用に繋がるよう展開が出来た。
- 年々定着しつつある単発自主事業（小学生の長期休暇余暇支援・まち散歩・おおなべ大会など）を継続して行うことにより、地域行事と同じような身近さを感じてもらえる事が出来た。
- 地区のジュニアボランティアを対象に行った事業では、地域行事やデイサービスでのボランティア活動での活躍に繋げる事が出来た。
- 父親育児支援事業を企画・実施し、育児を通して夫婦間の信頼関係を築く事ができている。また、参加者同士が繋がったり、講師や参加者と職員が繋がる事が出来た。
- 例年行っているケアプラザ祭りや作品展を、それぞれの趣旨に特化した内容に変更し開催。活動団体や事業所、地域の方などが主催側として参加することで、とても盛り上がり、大勢の地域の方に楽しんで頂けた。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 相談者や地域の方との対話の中で聞かれた声などから、対象者にあったボランティア活動ができる場の情報提供をし、活動を勧めボランティア発掘に繋げる事が出来た。
- 以前実施の自主事業で繋がったボランティアグループメンバーに対して、情報の発信や継続して活動できる場の提供を行い、ボランティアの楽しさを感じて頂いた。
- 高齢者昼食会の第二ほのぼの会が継続して活動することができるよう、新しい担い手が加わった新体制に向けての話し合いに参加し、今後の活動についての情報提供やアドバイスを通してコーディネートを行っている。また意見交換の仲介や情報共有についてのアドバイスを行い、活動が円滑に行えた。
- 貸館利用団体に呼びかけ、貸館室等の年末大掃除を実施。ほぼ全団体から参加者があり、大勢の方にボランティア活動の場として活躍して頂けた。
- 各団体や個人で活動されている方々の情報交換の場、交流の場としてボランティア交流会を開催し、今後の活動の糧とする事が出来た。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

○老人会・自治会・民生委員児童委員協議会に定期的に出席し、地域における情報共有を行うと共に、役割として地域包括支援センターが地域の相談窓口であることを認識していただけるよう繰り返し努めた。

○ケアプラザへの来所、電話相談等があれば、各資源の情報提供を行い、相談者及び本人の潜在的・顕在的ニーズの把握に努めた。状況に応じて早急な訪問を行い状況確認し、区役所、関係機関との情報共有をし、連携に努めた。相談内容としては高齢者介護についてが大半を占め、早急にサービスが必要と思われる場合は、ケアマネジャーと連携をして迅速な対応が可能になるよう努めた。

○高齢者と精神障害者の家族への支援、独居の認知症、病識のない方への対応等の支援困難と思われる方への対応の場合、地域包括支援センター内での連携はもとより、民生委員、行政、病院、診療所、ケアマネジャー、他福祉事業所との連携で支援を行った。

○相談では、高齢者だけではなく、障害者等の相談でも状況に応じて情報提供を行っている。民生委員、行政、病院、診療所、ケアマネジャー、他福祉事業所との連携・協働に努めた。サービスにつながらない場合、定期的に訪問や電話確認をして様子を伺い安否確認を行っており、柔軟で迅速な対応を心がける事が出来た。

○認知症独居高齢者の相談では、長期に渡る困難ケースが多く、区役所、民生委員や地区社協の方々、地域住民も交えて頻回に連絡を取り合い、訪問を重ねて支援に努めた。状況確認のために地域包括支援センター職員が訪問をし、特に土、日曜日にかかるときには交代で見守り訪問や電話連絡を行った。地域包括支援センターとして介護サービス導入前の環境を整えるため、職員が部屋の掃除やゴミ出しに通い、ケアマネジャー事業所・サービス事業所に繋ぐことで連携強化を図っている。

○民生委員からの相談では、速やかな状況把握のために同行訪問し、関係機関と連携を取りながら早期支援につなぎ、情報共有を図っている。

地域包括支援ネットワークの構築

○情報を得るため、また円滑な関係性を築くために定期的にサービス事業者や民生委員、自治会、老人会、診療所や薬局等への訪問を継続的に行い、顔の見える関係作りに努めてきた。今年度の訪問は新人職員を中心に行った。

○市沢地域支え合い事業で行っている、ボランティア団体のシステム構築のために、情報提供し、協力している。

左近山では上下階の移動困難なニーズを地域移動支援へ繋げるために、既存の複数のネットワークの意見を集め、新たな事業の構築を進めてきた。

実態把握

- 日常の相談とさらにご近所の方でお困りの様子が見られるという情報を得て状況を把握し、支援に繋げる事が出来た。
- 見守り事業の一環で民生委員と連絡をとれる機会が増えたことで早期に民生委員からの情報提供を得て、状況確認ができるようになってきている。
- 医療機関での診察時に支援が必要と思われる場合に、すぐに連絡を受け円滑に支援につなげている。また、老人会、食事会、民生委員協議会、支えあいネットワークに定期的に出席をすることで、お困りの様子が見られる方がいるという情報を得て、その後の支援につながるようにしている。
- 地域包括支援センター事業に参加の方との関係作りに努めた結果からもご近所の様子を伺うこともあり、地域住民との関係作りの効果が得られている。

2 権利擁護

権利擁護

- 司法の専門家による地域住民向けの成年後見・相続・遺言に関する相談会をケアプラザにて企画し実施。遺言や相続の基礎知識の他、成年後見制度の活用方法・申立て方法、エンディングノートの活用方法・基礎知識を学ぶ機会を設けていく。また、個別相談の時間及び個別相談ブースを設けることで、専門家に直接話を聞くことのできる機会を作り、将来について考えるきっかけとなるような取り組みを行っていく。
- チラシを作成し地域の店舗に掲示を依頼した他、来館者や老人会、事業参加者などに、成年後見制度の普及啓発を行い、同時に地域包括支援センターが成年後見制度の窓口である事を知ってもらうよう努めていく。
- ケアプラザ広報紙や地域の食事会、各事業、自宅訪問時などで定期的に消費者保護、悪徳商法についての情報収集・情報提供・注意喚起を継続実施していく。
- 成年後見制度の利用が必要と思われるケースについて、本人、ケアマネジャー、区や各機関と連携を取りながら情報収集を行い、担当者会議開催によるアセスメントを行い、制度利用に向けた準備の実施を継続。状況によっては区長申立ての検討、司法の専門家等に繋がるよう努め、本人にとっての最善の選択ができるよう引き続き支援していく。

高齢者虐待

- ケアマネジャー、区や関係機関との情報共有を行い適切な動きを取る事が出来た。
- 家族の認知症によるストレスで虐待の可能性があったケースについて、地域包括支援センターと本人・家族との面談を重ねた。本人と家族の意向を尊重した上で地域包括支援センターの事業や介護保険申請へと繋ぎ、介護保険認定後はケアマネジャーに引き継ぎを行った。現在は適切なサービス利用により本人・家族双方のストレスの軽減が見られており、地域包括支援センターの事業も参加継続されている。
- 虐待の疑いがある相談を受けた際は、地域包括支援センター職員、行政やサービス事業者とも連携を取り情報を共有することで、本人にとって最善の支援の方向性が見いだせる様努めた。
- 本人と家族との面談を重ねることで信頼関係を築き、解決策を導き出せるように支援を行うよう努めた。緊急を要すると判断した場合には迅速にショートステイ等の利用に繋げる事が出来た。

○あさがお協力隊との協働で介護者の集いを行う他、介護者同士、特に認知症の介護者同士が理解しあえる場として家族会での外出を企画し実施した。

認知症

○認知症予防として、脳トレ教室・スクエアステップ教室・音楽療法などの教室を行っている。参加者が継続して参加できるように関わりを持つことを心がけ、欠席時は電話をして様子を伺ったりして関係性作りに努めている。常に職員間で情報共有を図る事が出来た。

○地域の医療機関より、診断時に認知症の疑いがある場合は本人、家族の了解後、地域包括支援センターに連絡を頂き、早期に連絡・訪問等を行って支援につなげるように連携を図る事が出来た。

○認知症サポーター養成講座をアルツハイマーデーに開催。地域の福祉拠点を活用して行うことで、地域の福祉事業所・民生委員・ボランティアの方を含む、広く地域住民の方に認知症に対する普及啓発を行うことができた。また、地域の特別養護老人ホームにて、業務に携わるスタッフ向けに講座を企画。あさがお協力隊と協働することで受講者の認知症への理解、対応方法及び地域資源の周知を行えた。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

○定期的に利用者宅の訪問をし、心身等の状態を把握・評価を行って、サービス内容の検討を行っている。サービス内容の追加・変更時は速やかにサービス担当者会議を開いている。症状が改善されて利用がなくなった場合は、介護保険外のサービス利用を勧めている。

○日頃の相談では支援内容によって必要な事業所等に速やかに連絡をとって支援につないでいる。体力低下による相談等では、介護保険申請の必要な方は申請を行うが、自立が予想される場合はケアプラザの事業への参加やスポーツセンターの利用を促がしている。

○介護予防ケアプランの中に家族の支援やケアプラザで行っている地域の教室、食事会などのインフォーマルサービスの紹介をしながら本人の意欲を高められるように支援している。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

○区高齢者支援担当と地域包括支援センターとの定期カンファレンスに支援困難事例の相談や報告があるケアマネジャーに参加していただき、情報共有をして今後の支援についての検討を行った。

○市沢、左近山地区民生委員児童委員協議会とケアマネジャーの交流を例年通りケアマネジャー連絡会にて行った。

○地区社協が行っている食事会に毎回参加した。社協担当者とのコミュニケーションも取れ、参加者や関係者から介護相談を受けることが出来た。

○相談者には顔写真つきの地域包括支援センターの案内カードを配布し、地域包括支援センターの役割と担当者を案内した。その後の連絡がしやすくなった。

○一人暮らし高齢者見守り事業において各地区の民生委員と情報交換することができ、この対応をきっかけに、その後の支援と関わりを持てている。

○ケアプラザで福祉フェスタを開催した。地域包括支援センターでは、地域住民向け

に近隣の福祉施設の紹介を実施。併せて福祉施設責任者の協力を得て、見学会を行った。

- 地域の祭りでは、福祉相談所を設置し、コミュニティーカーに関するアピールとアンケートを行う予定でいたが、荒天で中止になったため、福祉フェスタで行った。
- 地域資源一覧は保健師と生活支援コーディネーターが協働で作成する事が出来た。
- 配食事業所からの安否確認情報に対して早期に行動する事で対象者を無事に保護する事が出来た。
- 民生委員からの安否確認情報の提供に対して、各機関と協力する事で、残念ながら亡くなっていたが、早期発見する事が出来た。

医療・介護の連携推進支援

- 今年度は旭区在宅医療相談室の協力で2つの連絡会を行った。
- ①鶴ヶ峰地域ケアプラザとは協働で「末期がん患者を診とる」をテーマに、医師による講演とグループワークを行った。参加者はケアマネジャーが48名、医師1名に研修医2名が参加。平日昼間の時間帯にも関わらず多くの参加があった。
- ②白根地域ケアプラザが開催する「在宅医とケアマネジャーとの懇談会」に協力。医師6名、ケアマネジャー28名に参加していただき、多職種が連携することで在宅医療を進める重要性を知っていただくために、医師による講座を開催した。夜間であったため、多くの医師に参加していただいた。
- 医療関係事業所を訪問し、顔つなぎを行っている。
- 旭区歯科医師会在宅歯科医療連携室との共催で通所介護・訪問介護事業所向けの口腔ケア講習会を実施し勉強会を行った。

ケアマネジャー支援

- 鶴ヶ峰地域包括支援センター及び白根地域包括支援センターとの合同ケアマネ連絡会を5回実施。
- 第1回 高次脳機能障害の理解と対応について 参加者44名
講義のポイント：
講師は横浜市総合リハビリテーションセンターの心理士に依頼。高次脳機能障害の全般について講義し、中途障害者地域活動センターフェニックス旭の紹介をした。
- 第2回 対人援助について 参加者22名
ポイント：
講師は対人スキルアップ研究センターに依頼。
ICFの考え方によるアセスメントの取り方や、介護保険でケアマネジャーに期待すること。ICFの心身機能、活動、参加、環境のニーズに対して、すべてに位置づけたサービスを入れていくこと。
- 第3回 認知症ケアを見直そう 参加者14名
講義のポイント：
講師は高齢者グループホームを運営する㈱NGUの山出氏に依頼した。認知症の考え方や機能訓練について学ぶ機会になった。
- 第4回 訪問医とケアマネジャーとの交流会
参加者35名（うち医師7名）
- 第5回 末期がんを自宅で看取る 参加者40名
ポイント：4回5回は医療との連携支援で開催。医師による講座と、グループワークを行い直接話せる機会を作った。

第6回 生活支援体制整備事業について 参加者29名
ポイント:生活支援体制整備事業の創設。生活支援コーディネーター1層、2層の関係。協議体の在り方。

第7回 民生委員との交流会 参加者34名(民生委員16名、ケアマネジャー18名)
ポイント:事例検討を行った。民生委員としてできる事、ケアマネジャーとしてできる事をグループワークで検討した。

- ・旭ケアマネット運営委員会には下半期に参加。12人の主任ケアマネが交代でアドバイザー的な参加をしている。
- ・エリア内で担当ケースを持つ居宅介護支援事業所が来所時にケースの報告を受け、困難な内容や支援が進まないときには同行訪問やカンファレンスを行った。
- ・新任ケアマネジャー研修は予定通り年に2回開催。左近山地域ケアプラザでも個別に研修生を受け入れている。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- あるデイサービスが閉鎖され、使わない送迎車を左近山団地で活用できないかと提案があった。左近山団地は昨年度開催された階段昇降に関するフォーラムでもエレベーターのない大規模団地で取り上げられている。この車を地域で活用するために、包括レベルの地域ケア会議を開催し、左近山団地でコミュニティーカーを走らせたいという事案ができた。オール左近山、アンサンブル、UR、社協と話し合いを繰り返し、方向性が見えたところで生活支援体制整備事業へ担当を切り替え、移動支援プロジェクトコミュニティーカーによる見守りネットワークの実現へ向かって支援を続けている。
- 定期的に地域ケア会議を実施して、介護、医療、地域関係者との協議を行うことにより、その会議後の高齢者個人に対する支援の充実を図るとともに、それを支えるために必要と思われる社会的資源の整備を検討している。
- 地域福祉拠点で行われているあいさつ運動や認知症カフェに協力し、ネットワークを構築している。

5 介護予防事業

介護予防事業

- 介護予防の取り組みとして今年度は8回シリーズで『元気アップGO!GO!』を行った。理学療法士による筋力アップ・歯科衛生士による口腔ケア・栄養士による栄養の講座を各2回、講座の前後に体力測定も入れて8回実施した。各回とも20名ほどの参加があった。講義はグループに分かれて机に座って受けていただいたのでお互いに顔見知りになって会話が弾み笑顔がみられていた。仲間作りが出来てとてもよかったと思う。せっかく出来た仲間が終了と共に別れてしまうのはもったいないので、3月から新しい体操教室を立ち上げることになった。元気な方も虚弱な方も一緒になってその方の体力に応じて各々が身体を動かすことが出来る教室を企画した。
- ひきこもり傾向の高齢者を対象にした「シネマカフェ」「レコードカフェ」を継続して行った。唯一男性の参加者が他より多くみられて継続していただけるように声掛けをおこなっている。同時に介護予防啓蒙・啓発活動も行えた。
- 元気づくりステーションの「ノルディックウォーキング」、「ほっと体操」「市沢スクエアステップ」は参加者の病気や体力低下のために退会する方もあり、参加者増に向けていろいろなところで参加を呼びかけて維持・継続のために後方支援を行えた。また、「スクエアステップ」「レクリエーション吹き矢」「ミュージックタウン」、虚弱な方の参加が多い体操教室「長月会」等の継続支援も行えた。
- 地域交流を目的とした「喫茶みっかぼーず」の参加者に高齢者が多いため、ゲーム感覚で楽しめる脳トレや手先を使った制作などを取り入れ、介護予防に対しての意識向上に繋がった。

6 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターという役割と顔を覚えてもらうために、地域の活動やケアプラザ内の活動に積極的に向かい出した。半年ほど経ったときに地域の方との信頼関係やニーズを把握できるような交流の場を必要と感じ、KTS（健太郎と楽しくしゃべろう）というものを企画し、実施した。

毎回10名以上の方に参加して頂き、少しずつ認知されてきている。また、地域ケア会議（包括レベル）では、車両を活用した左近山団地での外出支援について話し合われ、大枠が定まったので、生活支援体制整備事業の協議体を開催し、移動支援プロジェクトとして協議を重ねることができた。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市左近山地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	14,386	27,895	145	0	0	0	0	5,113
	介護保険収入	0	0	0	8,001	19,893	95,399	6,204	0
	その他	516	315	0	0	783	24,636	689	0
	利用者負担金収益	0	0	0	0	0	23,158	689	0
	雑収益	516	315	0	0	2	1,478	0	0
	受託収益	0	0	0	0	781	0	0	0
	収入合計(A)	14,902	28,210	145	8,001	20,676	120,035	6,893	5,113
支出	人件費	7,005	27,976	0	0	23,085	73,644	0	3,327
	事務費	1,547	934	0	0	1,514	6,050	0	0
	事業費	780	471	159	0	112	12,148	0	21
	管理費	4,512	1,144	0	0	0	8,043	0	0
	その他	560	0	0	0	477	0	0	0
	器具及び備品取得支出	0	0	0	0	477	0	0	0
	消費税	560	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	14,404	30,525	159	0	25,188	99,885	0	3,348	
収支 (A) - (B)		498	-2,315	-14	8,001	-4,512	20,150	6,893	1,765

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
脳トレ教室	地域	230,429	429	230,000	0	0	230,429
	224人						
	2500円						
家族の会	地域	1,421	1,421	0	0	1,421	0
	9人						
	無料						
てっぱん (精神障害者地域交流促進プログラム)	地域	40,528	19,128	21,400	0	0	40,528
	87人						
	300円						
ミュージックタウン	地域	0	0	0	0	0	0
	103人						
	無料						
レコードカフェ	地域	46,228	1,028	45,200	0	46,228	0
	304人						
	200円						
ケアーズカフェ/ あいさつ運動	地域	0	0	0	0	0	0
	208人						
	無料						
認知症予防トレーニング	地域	0	0	0	0	0	0
	227人						
	無料						
CM連絡会	事業者	23,049	23,049	0	23,049	0	0
	215人						
	無料						
成年後見制度講演会	地域	1,256	1,256	0	0	0	1,256
	26人						
	無料						
楽しく体操	地域	0	0	0	0	0	0
	99人						
	0円						
シネマファンカフェ	地域	21,316	2,916	18,400	0	21,316	0
	92人						
	200円						
介護予防教室	地域	0	0	0	0	0	0
	50人						
	無料						
認知症講演会	地域	11,137	11,137	0	11,137	0	0
	60名						
	無料						
消費者被害防止講演会	地域	0	0	0	0	0	0
	20人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
市沢スクエアステップ	地域	0	0	0	0	0	0
	15人						
	0円						
認知症サポーター養成講座	地域	0	0	0	0	0	0
	130人						
	無料						
民生委員・ケアマネ連絡会	地域	0	0	0	0	0	0
	34人						
	無料						
実になる体操	地域	0	0	0	0	0	0
	47人						
	無料						
ペタンク交流会	地域	2,129	2,129	0	0	0	2,129
	17人						
	無料						
笑顔の会	地域	1,582	1,582	0	0	0	1,582
	16人						
	無料						
元気アップGO!GO!	地域	478	478	0	0	0	478
	144人						
	無料						
喫茶みっかぼーず	地域	31,681	481	31,200	0	31,681	0
	156人						
	200円						
左近山ふれあい寄席	地域	90,188	53,588	36,600	80,188	0	10,000
	122人						
	300円						
コーラス輪音の会	地域	231,507	807	230,700	128,064	103,443	0
	925人						
	300円						
障がい児余暇支援事業 きしゃぽっぽ	障がい児小中高生親子	46,216	5,716	40,500	0	44,536	1,680
	98人						
	500円/その他						
初めての俳句(入門編)	地域	67,554	1,227	49,200	66,816	738	0
	164人						
	300円						
親子で体操すてっぷ	未就園児親子	43,471	12,271	31,200	36,751	0	6,720
	351人						
	200円						
親子でリズム1・2☆ジャンプ	未就園児親子	35,669	22,469	13,200	30,069	0	5,600
	167人						
	200円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
わくわく座	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	107人						
	無料						
まち散歩	地域	12,256	0	5,400	11,136	0	1,120
	27人						
	無料						
合同歌声喫茶2016	地域	0	0	0	0	0	0
	436人						
	500円						
くじらまつり	地域	6,480	2,430	4,050	0	6,480	0
	81人						
	50円						
ケアプラ♪芸術会	地域	21,603	12,353	9,250	0	21,603	0
	312人						
	実費						
夏休み小学生体験教室	Jrボランティア	6,436	1,836	4,600	0	6,436	0
	31人						
	200円						
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 色遊び工房 そらいろくらぶ〈夏〉	小学生	24,889	22,789	2,100	3,341	20,988	560
	7人						
	300円						
旭ふれあい区民まつり	地域	235	235	0	0	235	0
	613人						
	無料						
パパといっしょ!	未就園児親子	6,773	5,773	1,000	5,568	1,205	0
	28人						
	無料/200円						
ハロウィンパーティーツアー	未就園児親子	7,132	3,732	3,400	0	7,132	0
	26人						
	200円						
素敵なクリスマス飾りを つくりませんか?	地域	16,635	635	16,000	6,682	9,953	0
	18人						
	800円						
保育士とあそぼう	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	31人						
	無料						
登録団体説明会	登録団体	0	0	0	0	0	0
	51人						
	無料						
おおなべ大会 韓国参鶏湯編	地域	11,916	7,966	3,950	0	11,356	560
	79人						
	50円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア大掃除	登録団体	1,971	1,971	0	0	1,971	0
	57人						
	無料						
ボランティア交流会	ボランティアの方	18,488	18,488	0	0	18,488	0
	28人						
	無料						
オープン粘土で作る♪ いちごアクセサリー	地域	7,860	4,360	3,500	3,341	4,519	0
	7人						
	500円						
色遊び工房 空色倶楽部	地域	15,042	10,542	4,500	3,341	11,141	560
	12人						
	600円						
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 色遊び工房 そらいろくらぶ〈春〉	小学生	13,336	11,236	2,100	3,341	9,435	560
	7人						
	300円						
母と子の幸せ講座 ランプとクリスタル	未就園児親子	0	0	0	0	0	0
	29人						
	無料						
ケアプラザ祭り2016 with福祉フェスタ	地域	74,100	0	74,100	0	40,184	33,916
	約200人						
	実費						
左近山地区地域支えあい ネットワーク 左近山ウォーキング	地域	560	560	0	0	0	560
	24人						
	無料						
左近山地区地域支えあい ネットワーク 左近山スタンプラリー	地域	10,017	10,017	0	0	9,457	560
	40人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳トレ教室	学習療法を用いた認知症予防教室。くもんが作成した1週間分の読み書き計算ドリルを週に1回、学習サポーターからの支援を受けながら、教室で実施する。残り6日間分は受講生が自宅で行う。	48回/通年 全48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族の会	介護をしている家族を対象にした集い。普段の介護での悩み事や不安を解消できる場作り。外出も取り入れ楽しさを感じられる会にしていく。	2か月に1回 第2水曜日 (5, 7, 9, 11月) 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てっぱん (精神障害者地域交流促進プログラム)	精神障害をお持ちの方が居場所のひとつとして、地域ケアプラザを利用できるようにする。サロン形式で、ふれあいを持てる環境づくりを行い、自宅での閉じこもりを防ぐ。食事会、レクリエーション等を実施。	第2木曜日 (8月休み) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージック タウン	音楽療法を通して、認知症予防や介護ストレスの軽減を図るよう努める。	第4金曜日 全12回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レコードカフェ	レコードとオーディオセットをボランティアが持参し、ケアプラザで開催。昔懐かしい曲をレコードで聞くことができるため、その音を求めて参加される方が多くおり、男性も参加される。介護予防としてひきこもり防止の目的で開催。	全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアーズカフェ ／あいさつ運動	認知症を持つ地域住民の集いの場づくり／あいさつ運動は地域の有志が住みやすい街作りを行っている。買い物などで通りがかる住民にあいさつをし、あいさつ運動の目的を書いたビラを配布した。	全30回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防トレーニング	地域で開催されているオープンカフェの一部の時間を利用して、認知症予防に関わる教室を行い、認知症予防を身近なものに感じ、地域で開催できるようにする。	第2, 4土曜日 全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
CM連絡会	鶴ヶ峰地域ケアプラザ、白根地域ケアプラザの地域包括支援センターとの合同で3包括の担当地域で活動するケアマネジャーを対象に連絡会を開催して情報共有とお互いの研鑽を深める。	(5月、7月、9月、 11月2回、1月、3月 開催) 全7回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度 講演会	成年後見制度と関わりのある高齢者の消費者被害についての講演会と相談会を行うことにより、地域住民への普及啓発と安心感を得られるようにする。	11月20日開催 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく体操	転倒予防及び認知症予防として身体を動かして閉じこもり予防として、外に出る機会を作る。	第2, 4火曜日 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマファン カフェ	日頃、閉じこもりがちな方が外出できる機会を作る。特にサロンの場では気軽にコミュニケーションができない、したくない方もいるのでそういった方を対象にして気軽に映画を観る機会をつくって外出機会を設ける。	6, 3月開催 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室	地域の老人会に出向いて、介護予防についての啓発を進める。体操の講師を招いて、各老人会で介護予防についての啓発を行い、ご自分の健康や生活について再考して頂く機会とする。	5, 6, 7, 11月に開催 全9回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講演会	認知症予防のための講演会を地域を支える協力医に依頼。地域住民に近い目線から日常生活の改善のために必要な講演をいただき、普及啓発を行う。認知症の気づきやどのようにしたら認知症を予防できるのかを症状をふまえながら説明をして頂く。	2月19日開催 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害防止講演会	消費者被害予防DVDを使用し、地域包括支援センター社会福祉士が住民向けに講演を実施。注意喚起を行った。	3月開催 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
市沢スクエアステップ	転倒予防や認知症予防として身体と脳を鍛えて動きやすい身体を作りながら仲間も作っていく。	4月に開催 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	左近山、市沢住民に認知症の啓蒙を行う。キャラバンメイトの地域包括支援センター職員とひまわりの会の協力を得て講習会を実施。	9, 2, 3月 全5回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員・CM連絡会	民生委員と左近山、市沢を担当するケアマネージャーの顔合わせの機会を設ける。	3月開催 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実になる体操	元気アップGOGO！終了により開始した自主企画。転倒予防や認知症予防として身体と脳を鍛えて動きやすい身体を作りながら仲間も作っていく。	3月に開催 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペタンク交流会	ケアプラザ内で行われている2つのペタンク教室の交流会。新規参加者も交えて交流試合を行う。	3月開催 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑顔の会	家族会をリニューアルし、外出しながらおしゃべりをして、日頃の介護の相談やストレス発散を目的にしている。	1月開催 全1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気アップG O!GO!	高齢者自ら自分の身体は自分で作ることが大切であることに気付く。8回シリーズで運動・口腔ケア・栄養・体力測定を各2回ずつ行う。2回目は前回の評価もまじえて参加者が自身の日常生活の送り方について気づきを持って行う。	毎月1回 全9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶 みっかぼーず	引きこもり防止・居場所づくりにより地域で顔の見える関係を作る。ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。季節に合わせたお茶菓子（ボランティアの手作りの回もあり）を食べ、お茶を飲みながらの歓談や、職員による参加型レクリエーションを楽しんだ。	第1日曜日 (8・1月休み) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山 ふれあい寄席	ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。引きこもりの防止や楽しみを持つことでの生きがいづくり。前半はギター伴奏に合わせ懐かしの昭和の歌をうたい、後半は落語で楽しむ2部構成で行った。	4回/年 (4・7・11・2月) 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コーラス 輪音の会	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。歌を通じての仲間づくり。指導者に発声法を指導して頂き健康づくりに役立てる。指揮者指導のもと合唱を行い、自主事業やデイサービスの発表も行った。	第1・3火曜日 全24回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援事業 きしゃぼっぽ	障がいのある小学生・中学生・高校生の余暇支援。親子や兄弟・姉妹で参加する事で居場所づくり・仲間づくり・情報交換の場として活動する。年間計画をたて工作や調理や季節イベントなどを行う室内レクや外出レク（BBQ）など実施した。ケアプラザ祭りで、フランクフルトの販売ブースを担当しボランティアを行った。	第4土曜日 (8・11月休み) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての俳句 (入門編)	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。俳句を通じての仲間づくり。趣味を持つことで、外出の機会が増え健康づくりに役立てる。課題に合わせた句を持ち寄り、講師を含めた句会で批評を行った。ケアプラザで行った、芸術会にて作品展示を行った。	第3木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で体操 すてっぷ	親子の居場所づくり・仲間づくり、楽しみながら団体行動のルールを学ぶ。子育てや成長過程についての情報交換の場。音楽に合わせリズム体操や、様々な用具を用いバランス感覚や基本動作を養う運動を行った。親子で触れ合い、遊び感覚で楽しんだ。	第4木曜日 全11回 (11月降雪のため中止)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子でリズム 1・2☆ ジャンプ	園児を対象とし子どもと子育て世代のケアプラザ利用を促進する。楽しみながら団体行動のルールを学び、居場所づくり・仲間づくりを行う。親子で触れ合う運動や、お母さんのストレッチや筋トレ指導も取り入れリフレッシュタイムを実施。音楽に合わせたリズム運動レクリエーションを親子で共有することを楽しんだ。	第1金曜日 (4・9月休み) 全9回 (12月講師体調不良のため中止)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわく座	親子の居場所づくり、仲間づくり、親子のスキンシップの場。季節感のあるテーマにより季節や風習を学ぶ。ボランティアグループ（わくわく座）による、パネルシアターや手遊び、紙芝居、簡単な工作を行った。	第1金曜日 (4・7・10・ 12・2月) 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まち散歩	引きこもりの防止・仲間づくり・健康づくりを目的とする。旭ガイドボランティアによる、各名所由来ガイドつきウォーキングを実施。相鉄沿線のまち（大和周辺公園・こども自然公園から緑園都市周辺）に自然に触れながら楽しくウォーキングを行った。	2回/年 (11・3月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2016	歌を通じての仲間づくり、健康づくりの場の提供。旭公会堂を会場にして、童謡・唱歌を参加者436名全員で歌った。ケアプラザの紹介や被災地訪問の様子の紹介を実施。地域の作業所の販売を行った。	5月25日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くじらまつり	ケアプラザを知って頂くきっかけづくり。近隣施設利用者との交流を行う。当てくじを実施し、障がいの子供達やご家族、地域の方々とのふれあいを行った。	7月16日 全1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラ♪ 芸術会	ケアプラザ自主事業の活動や、貸館利用サークル、また個人で制作活動をしている方の作品・活動発表の場。ボランティア活動の場。発表する事で活動にさらに意欲を持って頂き、各団体間での活動の紹介、理解につなげる。団体ステージ発表や各貸館の部屋での作品展示を行った。サークル活動の体験コーナーを実施、メンバーが中心となって行った。カフェを設置し、出展者・観覧者ともに交流を楽しんだ。	11月26日 27日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み 小学生体験教室	左近山・市沢のジュニアボランティアの小学生の交流の場。福祉関係の知識を学ぶ場として実施。午前中は車いす体験とプラバン制作を行い、午後のデイサービス利用者で行うプラバン制作の材料準備も行った。お昼のデザート（きらきらゼリー）作りで親睦を図り、デイサービスでのレクリエーションボランティアを通して高齢者との交流・福祉体験を行った。	8月3日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 色遊び工房 そらいろくらぶ 〈夏〉	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。地域にお住いの講師協力のもと、夏休みの自由研究課題につながるような内容で行う。小学生低学年を対象に、オイルパステル画を個人制作。部屋の壁に貼った模造紙に体や道具を使って描くアクションペイントを全員で制作し、色遊びや他学年との交流を楽しんだ。	7月29日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい 区民まつり	旭区各地区の地域福祉保健計画の紹介とケアプラザの紹介。小学生以下の子ども向け割り箸でっぽうの射的ゲームを実施。保護者、大人を対象に地域にケアプラザの認知度や地域福祉保健計画について、地域についてなどのパネルアンケートを実施。	10月16日 全1日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパと いっしょ！	父親の育児協力促進を図り、育児を通しての仲間づくりの場、交流の場、情報共有の場。親子のコミュニケーションの場。父親と子供が講座に参加、母親はお茶を飲みながら交流・情報交換を行った。パパ講座卒業の講師協力のもと、育児講座、絵本の読み聞かせ講座を実施。2回目は、携帯電話やカメラでの写真撮影のコツ講座を実施し、講師、参加者ともに親睦を深めながら楽しんだ。	9月10日 10月8日 全2日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハロウィン パーティー ツアー	園児親子にケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。参加者同士の交流の場・情報共有の場。変身グッズを親子で工作し、ハロウィン仕様に装飾した小型バスに乗車。地域内の商店街へ出掛け仮装行列をしながらお菓子をもらいに歩く。参加者同士や協力店舗の店員、地域の方々との交流を楽しんだ。	10月31日 全1日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
素敵なクリスマス飾りをつくりませんか？	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。引きこもり予防、仲間づくりの場。新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場。地域の方が趣味を通じ、ボランティア活動をする場を提供するために実施。地域の方が講師となり、当日の進行や材料準備なども自主的に行い、オリジナルの壁飾りを制作。講師やボランティア、参加者同士での交流を楽しみながら作品作りを行った。出来上がった作品をケアプラザ芸術会にて展示協力をいただいた。	11月18日 全1日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
保育士とあそぼう	左近山保育園主催事業。子育て世代親子の交流の場、仲間づくりの場。保育士と交流することで、子育てについての情報提供や相談を行う。ケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。親子で楽しむゲームや質問カードを用いた自己紹介を行う。お母さん方が牛乳パックを利用した手作りおもちゃの工作を行っている間、子供たちは保育士と一緒に遊ぶなど、それぞれの時間を楽しんだ。	12月14日 全1日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	団体の活動目的を再認識して頂き、ケアプラザ利用方法を再確認する目的、団体同士の交流の場として実施。次年度の貸館マニュアル改定に伴う変更点の説明と、新規登録方法の説明、書類記入を行った。登録区分についての相談がある団体については個別説明を実施。貸ロッカーの利用団体に向けて、ロッカー整理後の確認と利用説明を行った。	12月11日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おおなべ大会 韓国参鶏湯編	ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。地域の方の多世代間交流の場、ケアプラザ事業で結成されたボランティアグループの活動の場として実施。地域に住む韓国出身の方にレシピ協力を頂き、調理や販売をボランティアグループを中心に行った。小さい子供から高齢者の方々まで、地域の方が同室にて飲食を共にし、時間を共有することで会話が生まれ、世代間交流を楽しんだ。	2月1日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 大掃除	貸館利用団体の施設清掃ボランティア活動の場。施設利用方法を見直す場。他団体との交流・情報共有の場として実施。各団体より数名が参加し、3階フロアの清掃を自主的に行って頂いた。清掃終了後、スープを提供し参加者同士の交流を楽しんだ。	12月26日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流会	ケアプラザ自主事業や、デイサービスでボランティア活動をしている方々の交流の場、活動紹介の場、意見交換の場、さらなるボランティアの活動範囲を広めることを目的として実施。軽食やデザート、飲み物等を食しながら歓談を楽しみ、職員が準備したレクリエーションのボランティアクイズで楽しみながら知識を深めた。	3月31日 全1日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オープン粘土で作る♪いちごアクセサリー	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。引きこもり予防、仲間づくりの場。新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場。講師を招き、練った粘土を型を使っていちごやその他のパーツを作り、オープンで焼いた後、色付けを行う。作品を作る楽しさと、参加者同士の交流を楽しんだ。	2月14日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
色遊び工房 空色倶楽部	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。引きこもり予防、仲間づくりの場。新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場。地域にお住まいの方を講師に招き、2回シリーズで開催。1日目はオイルパステルを使い絵を描き、色遊びを楽しんだ。2日目は部屋の壁に設置した大きな用紙に、身体全体を使い思い切り描くアクションペイントを実施。参加者には卒業を迎え春休みに入った中学生も参加し、世代を超えた参加者がみな童心に返り、色の世界を楽しんだ。	3月13日 27日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 そらいろくらぶ〈春〉	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。登録団体や地域にお住いの講師の協力のもと、長期休暇の余暇支援として実施。オイルパステルを使い色遊びを楽しみながら絵を描く個人画制作と、部屋の壁に設置した大きな用紙に、身体全体を使い思い切り描くアクションペイントを低高学年を分け実施。学年による描き方の違いなどを知る内容となり、普段の生活ではできない絵の世界を楽しんだ。	3月27日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母と子のしあわせ講座 ランプとクリスタル	登録団体読み聞かせグループももいろタンポポの主催事業。子育て支援、参加者同士や子育て支援関係者との交流、情報交換の場を目的として実施。講師を招き、詩の朗読とヘルマンハープの演奏を交え、子育ての講座を行った。保育ボランティアを依頼し、親子別室での開催のため講座に集中でき、リフレッシュの場となった。ケアプラザは広報、問い合わせ受付、会場設営、備品貸出し等に関わった。	2月25日 全1日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り 2016 with 福祉 フェスタ	ケアプラザを地域へPRし、利用のきっかけづくりを目的に実施。貸館利用団体、ボランティア団体の活動・活躍の場、世代間交流の場として行う。福祉にふれあい知る機会を提供。登録団体・ボランティア団体による食品屋台、子ども向けクイズラリーや制作コーナー、プレイルームを設置。また、介護保険に関する介護相談会、福祉施設紹介・介護食・介護サービスの紹介、福祉用具展示・体験を織り交ぜた福祉フェスタを関係事業所の協力を得て開催。販売や各ブースの手伝い、場内整理などジュニアボランティアなどの地域の方の協力が大きく、関わった方々みんなが楽しめるお祭りとなった。	10月15日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山支えあい ネットワーク 左近山ウォーキング	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。地域住民の交流、健康意識向上、健康促進、地域活性化を目的に実施。全国都市緑化フェア開催の周知を行う。左近山から尾根道を通り、よこはま動物園ズーラシアまでウォーキングを行った。希望者を募り、その先の里山ガーデン開催予定地を見学。自治会関係者、支えあいネットワークメンバーや参加者と、交流を楽しみながら行った。	1月16日 全1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山支えあい ネットワーク 左近山スタンプ ラリー	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。地域住民の交流、健康意識向上、健康促進、地域活性化を目的に実施。地域に住む小学生の余暇支援として行った。左近山内2箇所の地点よりスタートし、地域内に設置された6箇所のポイントを回り、ゲームを行いスタンプを集める内容で実施。各ポイントの進行を老人会メンバーに協力して頂き、多世代間交流を楽しんだ。	3月28日 全1日